

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570



お元気ですか！

志村 たかよし です



浪江駅の放射線量は高濃度の0.737マイクロシーベルト。

馬場有浪江町長 「この窮状を風化させてはならない」「二度と原発事故を起こしてはならない」

福島第1原発事故のために、約13万人の人たちが今も避難生活を強いられており、2万1千人余が住んでいた福島県浪江町は、一人の生活者もいない「ゴーストタウン」になっています。

私は7月26日、仙台市で行われた「自治体学校」の企画で浪江町を訪れました。家々はゆがみ、傾き、歩道は草ぼうぼうという光景を目の当たりにすると、かつてそこに人々の営みが息づいていたことなど想像すらできません。高濃度の放射線も目に見えず、現実のものとして受け入れる感覚がなかなか働きません。

浪江町長が町の現状を報告

前日の全体会で、馬場有浪江町長から

「原発災害の現状」の報告がありました。馬場町長は「原発事故以前は、お隣同士わきあいあいの団らんでコミュニティが形成されていたが、事故後は、家族はバラバラ、社会の絆も断たれ、個人の権利が侵されている」

「原発事故の発生も、避難指示も、国、県、東電のどこからの連絡もなく、避難指示情報はテレビで知った。正しい情報



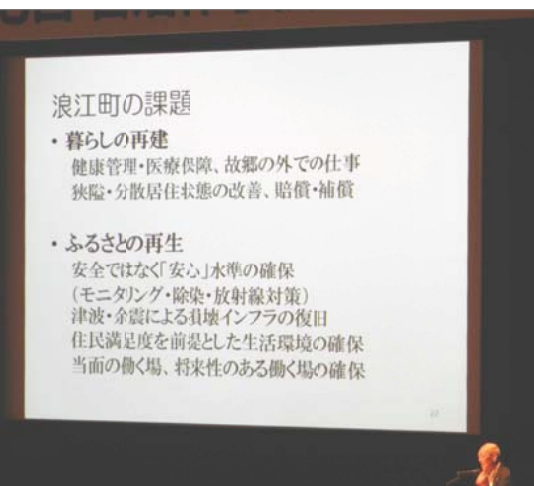
建物はゆがみ歩道は草ぼうぼうの浪江駅前商店街。

がない中、多くの町民は、きわめて放射線量の高い津島地区で1ヶ月も生活を強いられた」

「先祖代々の土地、家屋を放射性物質で汚染され財産権が侵害された」

などの実態を報告しました。

そして、「今後、賠償の問題とともに、水道、下水道、医療、福祉の整備、生活用品の確保などの条件がそろうまでは最低6年はかかる。除染作業は大きく遅れ何年たてばふるさとに戻れるのか明確になっていない。『町に戻る人』『町に戻りたいが戻れない人』『町に戻らない人』がいるが、浪江の町民がどこに住んでも命が守られ、幸せな暮らしを取り戻せるようにしたい」「福島原発事故を教訓に、二度と原発事故を起こしてはならない」と力強く訴えました。



全体会で報告する馬場有浪江町長。

「裁かれる責任」「再稼働ノ」の司法判断

原発再稼働差し止め判決

5月21日、福井地裁は、福島原発事故から教訓を引き出し、大飯原発の運転差し止めを命じる歴史的な判決をくだしました。

「国民の命と暮らしを守ること以上に大切なことはない」という大原則に立って原発再稼働ストップの判定をくだしたのです。

いま、日本は原発の稼働がゼロですが、猛暑でもなんら支障はありません。

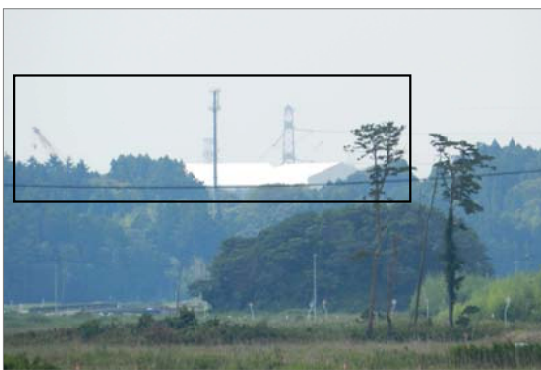
安倍政権が強引に進める原発「再稼働」なんてとんでもありません。



いまだ津波の被害が残る海岸近く＝浪江

東電元会長ら「起訴相当」

未曾有の被害を与えた福祉第1原発事故をめぐる、業務上過失致死傷罪で告訴・告発され、不起訴処分となった東電の旧経営陣3人について、東京第5検察審査会は、「津波の影響を知りうる立場・状況にあり、当時の最高責任者として、各部署に適切な対応策をとらせることができた」として起訴すべきだという起訴相当の議決をしました。福島原発事故が「人災」であることが浮き彫りにされました。



浪江町から山越しに見える福島第1原発。

オスプレイの配備・訓練の反対を求める請願 日本共産党以外の会派が反対

中央区議会
企画総務委員会

7月8日の企画総務委員会で「米軍新型輸送機オスプレイの配備撤回と全国での低空飛行訓練中止を求める意見書の採択を求める請願」についての採決が行われました。

危険きわまりないオスプレイ

垂直離着陸機オスプレイは、飛行モードとヘリモードを切り替える時が失速する危険があり、多くの墜落事故を起こしていることから「未亡人製造機」のニックネームがあります。私は「危険きわまりない『構



厚木基地に飛来したオスプレイ＝「赤旗」より

造的欠陥機」オスプレイが、全国のを飛び回り、国民の命を守るどころか国民の安全を脅かす事態になりかねない。沖縄県民と全国民を危険にさらし、不安と被害を与えるオスプレイの配備と訓練は許されぬ」と請願の採択に賛成しましたが、自民、公明、区民の会、民主の委員は反対しました。

7月15日、東日本へ初飛来

7月15日、MV22オスプレイが、神奈川県厚木基地を經由して米軍キャンプ富士に飛来し、着陸を強行しました。東日本への飛来は今回が初めてです。オスプレイの離着陸時は、翼のバタバタという音とともに、同機特有の低周波音が響き、「圧迫感を感じ、気圧が下がったときに起きるようなめまいがした」と訴える人もいます。米軍は同型機による本州上空での低空飛行訓練を計画し、防衛省は佐賀空港へのオスプレイ配備を計画しています。

「意見」「要望など、お気軽に」連絡ください(045-960-0000)